

特定一種病原体等の受入れ、所持について(これまでの経緯)

時系列	事 項
平成30(2018)年 11月15日	第17回村山庁舎施設運営連絡協議会 検査体制等の充実・強化のための取組の一環として、 <u>海外から国際的に脅威となる一種病原体の分与を受ける必要があると表明</u>
平成31(2019)年 3月28日	第18回村山庁舎施設運営連絡協議会 一種病原体の分与に関する説明会及びBSL-4施設見学会の実施状況等について説明
令和元(2019)年 5月30日	第19回村山庁舎施設運営連絡協議会 説明会等を行った範囲で市民の理解が進んだこと、東京オリ・パラまでの期間等を勘案し、 <u>海外から一種病原体の分与を受ける手続きを進めることを表明</u> なお、一方で不安に感じるとの意見もあることから、その不安を取り除くための取組を検討
令和元(2019)年 7月1日	<u>根本厚生労働大臣が藤野武蔵村山市長と会談。以下の5点を確認。</u> ① 災害時等の安全対策の強化 ② BSL-4施設で実施する業務の範囲 ③ 情報開示・コミュニケーションの推進 ④ 将来的な立地場所の検討 ⑤ 施設・周辺環境整備

時系列	事 項
令和元(2019)年 7月5日	上記の運営等に関する要望書について、厚生労働大臣から武蔵村山市長へ確認事項として回答 <u>特定一種病原体等の輸入に関する感染症法に基づく厚生労働大臣の指定プレスリリースを行うと同時に感染研ホームページに掲載し公表以降、特定一種病原体等の輸入手続きを開始</u>
令和元(2019)年 9月25日、26日	<u>海外より特定一種病原体等を輸入・所持</u>
令和元(2019)年 9月27日	感染研が特定一種病原体等を所持したことに関するプレスリリースを行うと同時に感染研ホームページに掲載し公表